

2026 年度 公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部 第 2 回理事会 議事録

1. 日時

2026 年 7 月 30 日 (木) 16 時 00 分～17 時 20 分

2. 場所

オンライン

3. 出席者

(理事) 尾関、白川、千葉、大宮、小西、齋藤、川村、杉田、八久保、西田、植竹、原田、渡邊、大鐘(14 名)

(委任状提出)、箕輪、桑原、(2 名)

(監事) 金村

以上、敬称略

※進行：白川副支部長、記録：大宮

4. 議事

(1) 総会、第 1 回理事会の議事録説明 (報告)

庶務担当の大宮理事より、2026 年度総会、第 1 回理事会の議事録について報告された。

(2) 2026 年度支部研究発表会の実施報告および 2027 年度総会・研究発表会等の開催日と会場について (報告・審議)

欠席の箕輪理事に代わり、大宮理事より研究発表会の参加者数と発表件数が報告された。次年度の総会・研究発表会の日程について、5 月 28 日 (金)～29 日 (土) で北大学術交流会館を仮予約済みであることが報告された。日程および開催場所については、今後、メール審議により行うことになった。

(3) 機関誌「北海道の雪氷」、北海道雪氷賞について (審議・報告)

北海道雪氷賞の表彰選考委員会について審議がなされ、尾関支部長により委嘱された八久保委員長により、委員として尾関支部長、白川副支部長、千葉副支部長、西田理事が委嘱された。西田理事より、機関誌「北海道の雪氷 45 号」が 8 月 3 日に発刊予定である旨、報告された。掲載予定であった全 37 篇の論文のうち、1 篇の掲載辞退があったことが報告された (辞退理由：論文のクオリティが保てず、提出〆切に間に合わない為)。北海道雪氷賞の理事会承認について、メール審議により行われる可能性があることが報告された。

(4) 支部だよりについて（報告）

庶務担当の大宮理事より支部だよりの準備状況が報告された。

(5) サイエンスパークの準備状況について（報告）

社会貢献担当(雪氷教育)の渡邊理事より、サイエンスパーク（8/6 開催予定）の準備状況について報告された。学生バイトの確保状況（時給 1200 円＋交通費）、ドライアイス（7kg）、お弁当（4 名分）を手配予定である旨、報告された。

(6) 雪氷災害調査チームの活動予定について（報告・審議）

雪氷災害調査チーム担当の原田理事より、雪氷災害調査チームの活動について報告されたほか、寄付金の状況について報告された。また、第 34 回講演会「雪崩から身を守るために」について、北海道支部が北大山スキー部、雪崩事故防止研究会とともに主催となること審議され、承認された。

(7) 地域講演会の準備状況について（報告）

地域講演会担当の植竹理事より、今年度の地域講演会は 10 月に旭川市において開催予定である旨が報告された。

(8) 紋別わくわく科学教室の開催報告（報告）

地域講演会担当の桑原理事より（大宮理事が代理報告）、当日の参加者は 1,503 名であった旨、報告された。

(9) 『雪氷研究大会（2026・北見）』に向けた準備状況（報告）

白川副支部長より、『雪氷研究大会（2026・北見）』の準備状況が報告された。開催に向けて準備が順調に進んでいる旨、報告された。

(10) その他

第 3 回理事会は 11 月頃に開催する予定。次回理事会では、次年度の後任選任について議論を行う予定。

以上